

## 種名と配列に関わる解説等（環形動物門（ホシムシ・ユムシ類含む））

### ○目録の解説

岡山県野生生物目録の前版（2009）では、伝統的な分類体系に基づいて、星口動物、ユムシ動物、そして環形動物（多毛綱、貧毛綱、ヒル綱）がそれぞれ独立した動物門として扱われていた。しかし、今回の改訂では、これらの分類群をすべて「環形動物門」の下に統一した。また、科以上の上位分類群を独立した見出し行として記入し、それら上位分類群すべてに対し、学名とその命名者・年を記入した。その理由は以下の通りである：

1. 最近の分子・ゲノム系統学的成果によれば、環形動物門多毛綱は明らかな多系統群であり、これまで別群とされてきたユムシ動物門、星口動物門、貧毛綱、ヒル綱を内包することが判明している（三浦, 2012; 佐藤・狩野, 2016; 田中, 2018）。

2. したがって、これまで慣用されてきた「門」、「綱」、「目」などの「科」以上の上位分類群の表記が問題となる。分子・ゲノム系統学的知見に基づく、環形動物門内の包括的な分類体系の再編は、現在その途上であり、目以上の上位分類群に対する階級の提唱には至っていない。

3. 近年刊行された国内の書籍（例えば巖佐ほか, 2013; 国立天文台, 2015）に収録されている生物分類表では、上記の系統学的知見が部分的に反映されており、例えばユムシ動物や星口動物は環形動物門内の「綱」に位置づけられ、また貧毛綱とヒル綱はまとめられて環帯綱とされている。一方で、多毛綱が解体され、所属していた分類群は頭節綱、足刺綱、溝副触手綱などに振り分けられたが、この分類体系は旧来の形態形質に基づく分岐分類学の成果（Rouse & Fauchald, 1997）に依拠しているため、分子・ゲノム系統解析によって得られている知見とは大きく乖離している。

4. よって本目録では、最新の系統学的知見（Erséus & Källersjö, 2004; James & Davidson, 2012; Kawauchi *et al.*, 2012; Andrade *et al.*, 2015; Struck *et al.*, 2015; Goto, 2016; Helm *et al.*, 2018; Tessler *et al.*, 2018）との整合性を図るため、科以上の上位分類群の表記には「綱」や「目」を使用せず、代わりに主要な単系統群（Clade）を「～類」もしくは「未命名の単系統群」などとするこゝで、門内の系統関係や階層性を把握できるように努めた。

本目録の上位分類群とその配列は、おもに Jamieson (2006), Brusca *et al.* (2016), そして Struck (2019) の総説を参照した。学名とその命名者・年は、Nakano & Itoh (2011), Nakano (2017), そしてインターネット上のデータベースである Minamiya (2014–2018) および WoRMS Editorial Board (2019) に概ね準拠した。

本目録での環形動物門の掲載種数は合計 235 種となり、前版 (2009) の 31 種から大幅に増加した。新規追加種は基本的に下記文献によるが、検討会委員および協力員の確認記録のみに基づく種については、備考欄に産地（観察者、観察日等）を記載した。

環形動物門の目録作成は協力員の田中正敦（鹿児島大学大学院理工学研究科）と佐藤正典（鹿児島大学大学院理工学研究科）が担当し、本解説は田中正敦が作成した。目録作成にあたっては以下の検討会委員および協力員各位の協力を得た（五十音順）：佐々木彰央（アンフィ合同会社），多留聖典（東邦大学東京湾生態系研究センター），福田 宏，柳 研介（千葉県立中央博物館分館海の博物館），山田 勝，和田太一（NPO 法人南港ウェットランドグループ）。

○主な参考文献

- Andrade, S.C.S., Novo, M., Kawauchi, G.Y., Worsaae, K., Pleijel, F., Giribet, G. & Rouse, G.W., 2015. Articulating “archiannelids”: phylogenomics and annelid relationships, with emphasis on meiofaunal taxa. *Molecular Biology and Evolution*, **32**: 2860–2875.
- 東 幹夫, 1967. 三谷池におけるプランクトンとベントスの現存量. *昭和 41 年度岡山県水産試験場事業報告書*, (1966): 174–181.
- Brusca, R.C., Moore, W. & Shuster, S.M., 2016. *Invertebrates, Third Edition*. Sinauer, Massachusetts.
- Catalan, M.A.B. & Yamamoto, M., 1994. Annual reproductive cycle of two Japanese species of sipunculans: *Siphonosoma cumanense* (Sipunculidae) and *Phascolosoma scolops* (Phascolosomatidae). *Pacific Science*, **48**: 145–157.
- 江田伸司・坂本明弘, 1988. 久須美鼻 (岡山県倉敷市) の海岸動物. *倉敷市立自然史博物館研究報告*, (3): 41–47.
- Erséus, C. & Källersjö, M., 2004. 18S rDNA phylogeny of Clitellata (Annelida). *Zoologica Scripta*, **33**: 187–196.
- 藤井義弘・松村眞作・篠原基之, 1997. 片上湾における底生生物の分布とエビ類の生息状況. *岡山県水産試験場報告*, (12): 51–58.
- 福田富男・唐川純一・安家重材・寺嶋 朴, 1979. 保護水面内に設置した網魚礁および投石等の効果—V (1978). *昭和 53 年度岡山県水産試験場事業報告書*, (1978): 54–96.
- 福田富男・増成伸文・濱崎正明, 1997. 岡山県東部水域におけるマアナゴの食性. *岡山県水産試験場報告*, (12): 1–8.
- 福田富男・松村眞作・香田康年, 2018. 改良型菊池ポイント法の開発. *吉備国際大学研究紀要 (医療・自然科学系)*, (28): 9–16.
- 福田富男・篠原基之・寺嶋 朴, 1973. 網魚礁の集魚効果およびそれに集まる動物相. *昭和 47 年度岡山県水産試験場事業報告書*, (1972): 83–108.
- Goto, R., 2016. A comprehensive molecular phylogeny of spoon worms (Echiura, Annelida): implications for morphological evolution, the origin of dwarf males, and habitat shifts. *Molecular Phylogenetics and Evolution*, **99**: 247–260.
- Goto, S. & Hatai, S., 1899. New or imperfectly known species of earthworms. No. 2. *Annotationes Zoologicae Japonenses*, **3**: 13–24.
- Hatai, S., 1930. Note on *Pheretima agrestis* (Goto and Hatai), together with the description of four new species of the genus *Pheretima*. *Science Reports of the Tohoku Imperial University, 4th Series (Biology)*, **5**: 651–667.
- Helm, C., Beckers, P., Bartolomaeus, T., Drukewitz, S.H., Kourtesis, L., Weigert, A., Purschke, G., Worsaae, K., Struck, T.H. & Bleidorn, C., 2018. Convergent evolution of the ladder-like ventral nerve cord in Annelida. *Frontiers in Zoology*, **15**: 36.
- 廣田厚子, 2015. 春の観察会 河口干潟に生息する甲殻類・貝類等干潟生物の観察. *倉敷の自然*, (99): 12–13.
- 飯島明子 (編), 2007. 第7回自然環境保全基礎調査 浅海域生態系調査 (干潟調査) 業務報告書. 環境省自然環境局生物多様性センター, 富士吉田.
- Ikemoto, N., 1963. Further studies in electron microscopic structure of the oblique-striated muscle of the earthworm, *Eisenia foetida*. *Biological Journal of Okayama University*, **9**: 81–126.

- Imajima, M., 1966a. The Syllidae (polychaetous annelids) from Japan. I. Exogoninae. *Publications of the Seto Marine Biological Laboratory*, **13**: 385–404.
- Imajima, M., 1966b. The Syllidae (polychaetous annelids) from Japan (II). Autolytinae. *Publications of the Seto Marine Biological Laboratory*, **14**: 27–83.
- Imajima, M., 1966c. The Syllidae (polychaetous annelids) from Japan (III). Eusyllinae. *Publications of the Seto Marine Biological Laboratory*, **14**: 85–116.
- Imajima, M., 1966d. The Syllidae (polychaetous annelids) from Japan (IV). Syllinae. *Publications of the Seto Marine Biological Laboratory*, **14**: 219–252.
- Imajima, M., 1966e. The Syllidae (polychaetous annelids) from Japan (V). Syllinae (2). *Publications of the Seto Marine Biological Laboratory*, **14**: 253–294.
- Imajima, M., 1972. Review of the annelid worms of the family Nereidae of Japan, with descriptions of five new species or subspecies. *Bulletin of the National Science Museum*, **15**: 37–153.
- 今島 実, 1996. 環形動物多毛類. 生物研究社, 東京.
- 今島 実, 2001. 環形動物多毛類II. 生物研究社, 東京.
- 今島 実, 2007. 環形動物多毛類III. 生物研究社, 東京.
- 今島 実, 2015. 環形動物多毛類IV. 生物研究社, 東京.
- Imajima, M. & Takeda, Y., 1987., Nephtyidae (Polychaeta) from Japan. *Bulletin of the National Science Museum, Series A*, **13**: 41–77.
- 稲葉明彦, 1988. 増補改訂 瀬戸内海の生物相II. 広島大学理学部附属向島臨海実験所, 広島.
- 石田 惣, 2017. 高梁川河口 (倉敷市). In 大阪自然史博物館 (編), 第48回特別展「瀬戸内海の自然を楽しむ」解説書『瀬戸内海の自然を楽しむ』, 85–86. 大阪自然史博物館, 大阪.
- 石田 惣・和田 岳, 2017. 番田 (玉野市). In 大阪自然史博物館 (編), 第48回特別展「瀬戸内海の自然を楽しむ」解説書『瀬戸内海の自然を楽しむ』, 86. 大阪自然史博物館, 大阪.
- 石田 惣・中条武司・横川昌史・和田 岳, 2017. 高洲 (倉敷市). In 大阪自然史博物館 (編), 第48回特別展「瀬戸内海の自然を楽しむ」解説書『瀬戸内海の自然を楽しむ』, 86. 大阪自然史博物館, 大阪.
- 石川久治, 1938. 実験・応用 釣餌虫利用の研究. 釣餌料研究会, 福岡.
- 伊藤猛夫・菊池泰二・桑田一男・二階堂要, 1976. 児島湖 (人工淡水湖) における底生動物の分布と現存量. *生理生態*, **17**: 23–31.
- Ito, T., Kuwada, K. & Nikaidō, M., 1970. Benthic macroinvertebrates of Lake Kojima, with particular reference to pollutional effects of industrial and municipal wastes. *Memoirs of the Ehime University, Natural Science, Series B (Biology)*, **6**: 145–158.
- 伊藤 靖・中野喜央・藤澤真也, 2008a. 人工魚礁およびその周辺における小型動物の分布—漁場施設の魚類増殖効果に関する研究—I—. *水産工学*, **45**: 101–100.
- 伊藤 靖・中野喜央・藤澤真也, 2008b. 人工魚礁におけるマコガレイの分布と食性—漁場施設の魚類増殖効果に関する研究—II—. *水産工学*, **45**: 129–138.
- 伊藤 靖・吉田 司・張間千鶴, 2015. 瀬戸内海の千軒湾地先における炭素・窒素安定同位体比からみたマコガレイ稚魚の食物と食物源の推定. *日本水産学会誌*, **81**: 681–687.
- 巖佐 庸・倉谷 滋・斎藤成也・塚谷裕一 (編), 2013. 岩波生物学辞典 第5版. 岩波書店, 東京.
- 飯塚 啓, 1905. 児島湾に群泳をなす環節虫類. *動物学雑誌*, **17**: 181
- 飯塚 啓, 1907. イトメの産地. *動物学雑誌*, **19**: 176–177.

- Izuka, A., 1908. On the breeding habit and development of *Nereis japonica* n. sp. *Annotationes Zoologicae Japonenses*, **6**: 295–305.
- 飯塚 啓, 1908. 児島湾の「海ビール」の生殖群泳及其発生. *動物学雑誌*, **20**: 390.
- Izuka, A., 1912. The errantiate Polychaeta of Japan. *Journal of the College of Science, Imperial University, Tokyo*, **30**: 1–262, pls 1–24.
- 泉川晃一, 2009. スッポンに寄生するヒル. *水試だより*, (353): 2.
- James, S.W. & Davidson, S.K., 2012. Molecular phylogeny of earthworms (Annelida: Crassicitellata) based on 28S, 18S and 16S gene sequences. *Invertebrate Systematics*, **26**: 213–229.
- Jamieson, B.G.M., 2006. Non-leech Clitellata. In Rouse, G. & Pleijel, F. (eds), *Reproductive Biology and Phylogeny of Annelida*, 235–392. Science Publishers, New Hampshire.
- 株式会社パスコ (編), 1988a. 第3回自然環境保全基礎調査 海域生物環境調査報告書 (全国版). 環境庁自然保護局, 東京.
- 株式会社パスコ (編), 1988b. 第3回自然環境保全基礎調査 海域生物環境調査報告書 (全国版) 別添資料 季節別・地区単位データ集計表 磁気テープ入力形式. 環境庁自然保護局, 東京.
- 環境庁自然保護局 (編), 1998. 第5回自然環境保全基礎調査 海辺調査 データ編. 環境庁自然保護局, 東京.
- 片山勝介・三宅与志雄・池田善平・篠原基之・藤沢邦康, 1979. 岡山県西部における養殖モガイの異常へい死に関する研究—I. 昭和53年度岡山県水産試験場事業報告書, (1978): 139–143.
- 勝谷邦夫・村田 守, 1977. ゴカイ (*Neanthes japonica*) の養殖に関する研究. 昭和51年度岡山県水産試験場事業報告書, (1976): 145–151.
- 勝谷邦夫・山本章造・村田 守, 1976. 高島周辺でのゴカイ養殖について. 昭和50年度岡山県水産試験場事業報告書, (1975): 315–319.
- 勝谷邦夫・山本章造・和田 功, 1972. 塩田内に発生するゴカイ *Neanthes japonica* (Izuka) に関する研究. 昭和46年度岡山県水産試験場事業報告書, (1971): 34–46.
- Kawaguti, S. & Ikemoto, N., 1957. Electron microscopy on the smooth muscle from the body wall of the earthworms, *Pheretima communissima* and *Eisenia foetida*. *Biological Journal of Okayama University*, **3**: 223–238.
- Kawaguti, S. & Ikemoto, N., 1958. Electron microscopy on the smooth muscle of the leech, *Hirudo nipponia*. *Biological Journal of Okayama University*, **4**: 79–91.
- Kawauchi, G.Y., Sharma, R.P. & Giribet, G., 2012. Sipunculan phylogeny based on six genes, with a new classification and the descriptions of two new families. *Zoologica Scripta*, **41**: 186–210.
- 菊池泰二, 1969. 児島湖の底生動物群集. *動物学雑誌*, **78**: 80.
- Kikuchi, T. & Itô, T., 1975. Biotic production and eutrophication in Lake Kojima. Densities and standing crops of the major invertebrates. In Mori, S. & Yamamoto, G. (eds), *JIBP Synthesis, Vol. 10. Productivity of Communities in Japanese Inland Waters*, 199–246. University of Tokyo Press, Tokyo.
- Kitamori, R., 1965. The Pectinaridae [sic] (polychaetous annelids) from the Seto-Inland-Sea and the Omura Bay. *Bulletin of Tokai Regional Fisheries Research Laboratory*, (44): 45–48.
- 小橋啓介・藤澤邦康・尾田 正・林 浩志・小宮山秀樹, 2003. 岡山県東部干潟の6ヶ所の底質とベントス. *岡山県水産試験場報告*, (18): 106–113.
- 小林新二郎, 1941. 四国, 中国, 近畿及中部諸地方の陸棲貧毛類に就て. *動物学雑誌*, **53**: 258–266.
- 国立天文台 (編), 2015. 理科年表 平成28年 (第89冊). 丸善出版, 東京.
- 近藤正義, 1964. 日本水道生物学誌. *日本水処理生物学会誌*, **1**: 3–12.

- 松永久宏・高木正人・小菊忠男, 2003. 鋼鉄スラグ水和固化体の基本特性と海洋環境下における生物付着性. *鉄と鋼*, **89**: 74–80.
- Minamiya, Y. [南谷幸雄], 2014–2018. 日本産ミミズ大図鑑プロジェクト. <https://japanese-mimizu.jimdo.com/> (2019年2月23日閲覧)
- 三浦知之, 2012. 環形動物. In 日本進化学会 (編), *進化学辞典*, 245–246. 共立出版, 東京.
- 三宅与志雄・藤沢邦康, 1983. 児島湾締切堤防周辺の環境について. *昭和57年度岡山県水産試験場事業報告書 (受託関係)*, (1982): 26–46.
- 三宅与志雄・浮田和夫, 1968. 水島海域の水質・底質及び底生動物について. *昭和42年度岡山県水産試験場事業報告書*, (1967): 127–151.
- 三宅与志雄・藤沢邦康・浮田和夫, 1976. 岡山県沿岸の底質について. *昭和50年度岡山県水産試験場事業報告書*, (1975): 36–67.
- 森 千恵・江木寿男, 2011. 日本の重要湿地 500 永江川河口湿地のベントスと魚類. *倉敷市立自然史博物館研究報告*, (26): 1–6.
- 村上和仁・吉岡敏行・鷹野 洋・荻野泰夫, 1998. 児島湖における底生動物現存量調査. *岡山県環境保健センター年報*, (22): 26–28.
- 長澤和也・泉川晃一・池竹弘旭, 2013. 100年ぶりにボラに寄生が確認されたヒダビル. *生物圏科学*, **52**: 65–70.
- Nagasawa, K., Izumikawa, K., Yamanoi, H. & Umino, T., 2009. New hosts, including marine fishes cultured in Japan, of *Limnotrachelobdella okae* (Hirudinida: Piscicolidae). *Comparative Parasitology*, **76**: 127–129.
- Nakano, T., 2017. Diversity of leeches from Japan: recent progress in microphagous and blood-feeding taxa. In Motokawa, M. & Kajihara, H. (eds), *Species Diversity of Animals in Japan*, 319–340. Springer Japan, Tokyo.
- Nakano, T. & Itoh, T., 2011. A list of the leech (Clitellata: Hirudinida) collection deposited in the Department of Zoology, the University Museum, The University of Tokyo. In Ueshima, R. (ed), *Catalogue of Invertebrate Collection Deposited in the Department of Zoology, the University Museum, The University of Tokyo (3). Phylum Annelida (Class Polychaeta, Oligochaeta, and Hirudinida)*. *The University Museum, The University of Tokyo, Material Reports*, (90): 85–94.
- 西川輝昭, 2012. サナダユムシ. In 日本ベントス学会 (編), *干潟の絶滅危惧動物図鑑 海岸ベントスのレッドデータブック*, 238. 東海大学出版会, 秦野.
- Ohtaka, A. & Nishino, M., 2006. Studies on the aquatic oligochaete fauna in Lake Biwa, central Japan. IV. Faunal characteristics in the attached lakes (naiko). *Limnology*, **7**: 129–142.
- Oka, A., 1910. Synopsis der japanischen Hirudineen, mit Diagnosen der neuen Species. *Annotationes Zoologicae Japonenses*, **7**: 165–173.
- 岡山大学理学部附属玉野臨海実験所, 1978. 備讃瀬戸海域の生物相と主要実験動物の研究. In 国立大学臨海臨湖実験所長会議 (編), *臨海・臨湖実験所周辺の生物相および主要実験生物に関する研究 (昭和50–52年度文部省科学研究費補助金総合研究A 研究成果報告)*, 158–170. 国立大学臨海臨湖実験所長会議, 福岡.
- 岡山大学理学部附属牛窓臨海実験所, 刊行年不詳. *海産動物実習手引 第4版*. 岡山大学理学部附属牛窓臨海実験所, 牛窓.
- 岡山県, 1989. 牛窓, 番田, 高島地区保護水面における環境及び生物調査 (1988). *岡山県水産試験場報告*, (4): 100–101.

- Okuda, S., 1933. Some polychaete annelids used as bait in the Inland Sea. *Annotationes Zoologicae Japonenses*, **14**: 243–253.
- Rouse, G.W. & Fauchald, K., 1997. Cladistics and polychaetes. *Zoologica Scripta*, **26**: 139–204.
- 坂本明弘, 2018. 第 530 回自然観察会「干潟の生物の観察会」. *しぜんくらしき*, (104): 15.
- 佐々木彰央, 2019. 両生類に寄生する *Torix* 属 3 種の記録. *両生類誌*, (32): 7–9.
- 佐藤二郎・元谷 剛・林 浩志, 2014. 岡山県東部海域におけるイヌノシタ及びアカシタピラメの食性. *岡山県農林水産総合センター水産研究所研究報告*, (29): 61–68.
- Sato, M., 2013. Resurrection of the genus *Nectoneanthes* Imajima, 1972 (Nereididae: Polychaeta), with redescription of *Nectoneanthes oxypoda* (Marenzeller, 1879) and description of a new species, comparing them to *Neanthes succinea* (Leuckart, 1847). *Journal of Natural History*, **47**: 1–50.
- 佐藤正典・狩野泰則, 2016. 総論：環形動物の分類学研究. *月刊海洋／号外*, (57): 5–11.
- 千田哲資, 1965. イカナゴの夜間浮上について. *日本水産学会誌*, **31**: 506–510.
- 白井邦彦・山根謹爾, 1944. 強内湾性の動物群集—児島湾に就て—. *日本海洋学会誌*, **4**: 7–14.
- Struck, T.H., 2019. Phylogeny. In Purschke, G., Böggemann, M. & Westheide, W. (eds), *Handbook of Zoology. Annelida. Volume 1: Annelida Basal Groups and Pleistoannelida, Sedentaria I*, 37–68. De Gruyter, Berlin.
- Struck, T.H., Golombek, A., Weigert, A., Franke, F.A., Westheide, W., Purschke, G., Bleidorn, C. & Halanych, K.M., 2015. The evolution of annelids reveals two adaptive routes to the interstitial realm. *Current Biology*, **25**: 1993–1999.
- 田中正敦, 2018. 環形動物 (有鬚動物・ユムシ・星口動物を含む) — 誤解されていた系統関係. In 日本動物学会 (編), *動物学の百科事典*, 70–71. 丸善出版, 東京.
- Tanaka, M., Kon, T. & Nishikawa, T., 2014. Unraveling a 70-year-old taxonomic puzzle: redefining the genus *Ikedosoma* (Annelida: Echiura) on the basis of morphological and molecular analyses. *Zoological Science*, **31**: 849–861.
- 寺島 朴, 1973. 下津井海域のアマモ場とドロ場におけるえび漕網の漁獲物組成. *昭和 47 年度岡山県水産試験場事業報告書*, (1972): 64–82.
- 寺嶋 朴・松村眞作, 1983. 児島湾における干潟の底生動物. *昭和 57 年度岡山県水産試験場事業報告書 (受託関係)*, (1982): 104–119.
- Tessler, M., Carle, D.de, Voiklis, M.L., Gresham, O.A., Neumann, J.S., Cios, S. & Siddall, M.E., 2018. Worms that suck: phylogenetic analysis of Hirudinea solidifies the position of Acanthobdellida and necessitates the dissolution of Rhynchobdellida. *Molecular Phylogenetics and Evolution*, **127**: 129–134.
- Tomioka, S., Kakui, K. & Kajihara, H., 2018. Molecular phylogeny of the family Capitellidae. *Zoological Science*, **35**: 436–445.
- Torii, T., 2006. New record of *Propappus volki* (Annelida: Clitellata: Propappidae) from Japan. *Species Diversity*, **11**: 359–365.
- 東洋航空事業株式会社 (編), 1981. 第 2 回自然環境保全基礎調査 海域調査報告書 海域生物調査 (全国版). 環境庁, 東京.
- 土屋 豊・福田富男, 1983. 牛窓・番田・高島保護水面における環境および生物調査. *昭和 57 年度岡山県水産試験場事業報告書*, (1982): 118–140.
- 津田松苗・伊勢久右衛門, 1968. 児島湖の底生動物. *奈良陸水生物学報*, (1): 51–53.
- 著者不詳, 1904. 釣餌料調査. In 岡山県水産試験場 (編), *明治三十五年度岡山県水産試験場業務報告*, 68–71. 岡山県水産試験場, [玉野].

- 著者不詳, 1906. 釣餌料調査. In 岡山県水産試験場 (編), 明治三十六年度岡山県水産試験場業務報告, 67-74. 岡山県水産試験場, [玉野].
- 著者不詳, 1907. 東京動物学会例会記事. 動物学雑誌, 19: 112.
- 著者不詳, 1928. 餌虫蓄養運搬試験. In 岡山水産試験場 (編), 大正十五年・昭和元年度岡山県水産試験場業務報告, 48-52. 岡山県水産試験場, [浅口].
- 著者不詳, 1975. 岡山大学玉野臨海実験所. In 全国臨海臨湖実験所長会議 (編), 臨海・臨湖実験所周辺の生物相および主要実験生物に関する研究 (昭和49年度科学研究費総合研究B研究成果), 59-63. 全国臨海臨湖実験所長会議, 福岡.
- 内田紘臣, 2006. Polychaetologica (40) 各科の属の検索と種の説明 (25) チロリ科 No. 5. マリンバビリオン, 35: 14-15.
- 和田恵次・西平守孝・風呂田利夫・野島 哲・山西良平・西川輝昭・五嶋聖治・鈴木孝男・加藤真・島村賢正・福田 宏, 1996. 日本における干潟海岸とそこに生息する底生生物の現状. *WWF Japan Science Report*, 3: 1-182.
- WoRMS Editorial Board, 2019. *World Register of Marine Species*. <http://www.marinespecies.org> (2019年2月21日閲覧)
- 山野井英夫・難波洋平・小宮山秀樹・尾田 正・藤沢邦康, 2005. 軟泥干潟の底生生物相に及ぼすカキ殻粉末散布の影響. *岡山県水産試験場報告*, (20): 22-25.
- 山野井英夫・難波洋平・小宮山秀樹・植木範行・尾田 正・藤沢邦康, 2005. 軟泥域潮下帯の底生生物相に及ぼす粗粉碎カキ殻散布の影響. *岡山県水産試験場報告*, (20): 26-28.
- 吉郷英範, 2014. 庄原市立比和自然科学博物館所蔵のヒル綱 (環形動物門) の標本とその生態記録. *比婆科学*, (248): 31-44.
- 吉岡 勉, 2001. 大槌島・羽佐間島の海岸動物. *しぜんくらしき*, (39): 18.
- 湯浅卓雄, 1996. 岡山県自然保護センターの水生動物 [魚類, 底生動物]. *岡山県自然保護センター研究報告別巻*, (1): 75-82.

番号	和名	学名	生息状況				生息環境区分等	岡山県版 レッドデータブック2020	環境省 レッドリスト2019	備考
			北	中	南	海				
環形動物門 Phylum ANNELIDA Lamarck, 1809										
Clade PALAEOANNELIDA Weigert & Bleidorn, 2016										
モロテゴカイ科 Family MAGELONIDAE Cunningham & Ramage, 1888										
1	モロテゴカイ	<i>Magelona japonica</i> Okuda, 1937	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
チマキゴカイ科 Family OWENIIDAE Rioja, 1917										
2	Galathowenia 属の一種	<i>Galathowenia</i> sp.	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
3	ボウズチマキゴカイ	<i>Myriochele heeri</i> Malmgren, 1867	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
Clade CHAETOPTERIMORPHA Fauchald, 1977										
ツバサゴカイ科 Family CHAETOPTERIDAE Audouin & Milne Edwards, 1833										
4	ツバサゴカイ	<i>Chaetopterus cautus</i> Marenzeller, 1879	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底	絶滅危惧 I 類	絶滅危惧 I B 類	
5	ムギワラムシ	<i>Mesochaetopterus japonicus</i> Fujiwara, 1934	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底		準絶滅危惧	
6	スナタバムシ	<i>Mesochaetopterus minutus</i> Potts, 1914	—	—	—	?	潮間帯～潮下帯岩礁、砂泥底			
7	アシビキツバサゴカイ属の一種	<i>Spiochaetopterus</i> sp.	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			" <i>Telepsavus costarum</i> " もしくは " <i>Spiochaetopterus costarum</i> " とされていた種
未命名の単系統群										
星口動物 Clade SIPUNCULA Stephen, 1965										
スジホシムシ科 Family SIPUNCULIDAE Rafinesque, 1814										
8	スジホシムシ	<i>Sipunculus nudus</i> Linnaeus, 1767	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底		準絶滅危惧	
フクロホシムシ科 Family GOLFINGIIDAE Stephen & Edmonds, 1972										
9	クロホシムシ	<i>Thysanocardia nigra</i> (Ikeda, 1904)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
Family SIPHONOSOMATIDAE Kawachi et al., 2012										
10	スジホシムシモドキ	<i>Siphonoma cumanense</i> (Kieferstein, 1866)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底		準絶滅危惧	
サメハダホシムシ科 Family PHASCOLOSOMATIDAE Stephen & Edmonds, 1972										
11	サメハダホシムシ	<i>Phascolosoma scolops</i> (Selenka & De Man in Selenka et al., 1883)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
ウミケムシ類 Clade AMPHINOMIDA Dales, 1962										
ウミケムシ科 Family AMPHINOMIDAE Lamarck, 1818										
12	ウミケムシ	<i>Chloeia flava</i> (Pallas, 1766)	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
13	ハナオレウミケムシ	<i>Eurythoe complanata</i> (Pallas, 1766)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
Clade PLEISTOANNELIDA Struck, 2011										
遊在類 Clade ERRANTIA Audouin & Milne Edwards, 1832										
Clade PROTODRILIFORMIA Struck et al., 2015										
イジマムカシゴカイ科 Family POLYGORDIIDAE Czerniavsky, 1881										
14	イジマムカシゴカイ	<i>Polygordius ijimai</i> Izuka, 1903	—	—	—	?	潮間帯砂泥底			
15	ユリネムカシゴカイ	<i>Polygordius pacificus</i> Uchida, 1935	—	—	—	?	潮間帯砂泥底			
ムカシゴカイ科 Family SACCOCIRRIDAE Czerniavsky, 1881										
16	ムカシゴカイ	<i>Pharyngocirrus uchidai</i> (Sasaki, 1981)	—	—	—	?	潮間帯砂泥底			
サンバゴカイ類 Clade PHYLLODOCIDA Dales, 1962										
コガネウロコムシ科 Family APHRODITIDAE Kinberg, 1856										
17	ニホンコガネウロコムシ	<i>Aphrodita japonica</i> Marenzeller, 1879	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
ノラウロコムシ科 Family SIGALIONIDAE Kinberg, 1856										
18	ミミウロコムシ	<i>Labioleanira yhleni</i> (Malmgren, 1867)	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			別名マサゴウロコムシ
19	シボガウロコムシ	<i>Labiolepis sibogae</i> (Horst, 1917)	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
ボウセキウロコムシ科 Family ACOETIDAE Kinberg, 1856										
20	フカミウロコムシ	<i>Acoetes jogasimae</i> (Izuka, 1912)	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
ウロコムシ科 Family POLYNOIDAE Kinberg, 1856										
21	ミロクウロコムシ	<i>Halosydna nebulosa</i> (Grube, 1876)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
22	マダラウロコムシ	<i>Harmothoe cf. imbricata</i> (Linnaeus, 1767)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
23	ヤスリウロコムシ	<i>Harmothoe praecleara</i> (Haswell, 1883)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
24	サンハチウロコムシ	<i>Hermilepidonotus helotypus</i> (Grube, 1877)	—	—	—	○	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
25	Hololepidella 属の一種	<i>Hololepidella</i> sp.	—	—	—	+	潮下帯砂泥底(棘皮動物に共生)			



番号	和名	学名	生息状況				生息環境区分等	岡山県版 レッドデータブック2020	環境省 レッドリスト2019	備考
			北	中	南	海				
26	ナガウロコムシ	<i>Lepidasthenia izukai</i> Imajima & Hartman, 1964	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底(フサゴカイ類棲管内)			
27	ヤチウロコムシ	<i>Lepidonotus elongatus</i> Marenzeller, 1902	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間、フサゴカイ類棲管内			
28	<i>Lepidonotus</i> 属の一種	<i>Lepidonotus</i> sp.	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			笠岡(多留, 11 Sep. 2011)
29	オオシマウロコムシ	<i>Perolepis ohshimai</i> (Okuda, 1936)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底(ドワイアリアマコ孔造)	情報不足		
タンザクゴカイ科 Family CHRYSOPETALIDAE Ehlers, 1864										
30	ナガタンザクゴカイ	<i>Bhawania goodei</i> Webster, 1884	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯、砂泥底			
31	タンザクゴカイ	<i>Chrysopetalum occidentale</i> Johnson, 1897	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
シリスコ Family SYLLIDAE Grube, 1850										
32	カサネシリス	<i>Amblyosyllis speciosa</i> Izuka, 1912	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
33	<i>Branchiosyllis</i> 属の一種	<i>Branchiosyllis</i> sp.	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底、付着生物群集間			
34	ノロシリス	<i>Epigamia noroi</i> (Imajima & Hartman, 1964)	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
35	ウサシリス	<i>Epigamia usaensis</i> (Imajima, 1966)	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
36	ヤドリシリス	<i>Eusyllis assimilis</i> Marenzeller, 1875	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
37	ハベシリス	<i>Eusyllis lamelligera</i> Marion & Bobretzky, 1875	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
38	マキツルシリス	<i>Eusyllis longicirrata</i> Imajima, 1966	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
39	カイメンシリス	<i>Haplosyllis spongicola</i> Grube, 1855	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
40	ミドリシリス	<i>Megasyllis nipponica</i> (Imajima, 1966)	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
41	アカグロシリス	<i>Odontosyllis detecta</i> Augener, 1913	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
42	ナナツハシリス	<i>Odontosyllis fulgurans</i> (Audouin & Milne Edwards, 1833)	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
43	イボオクバシリス	<i>Opisthosyllis viridis</i> Langerhans, 1879	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
44	タマノシリス	<i>Paraproceraea tamana</i> (Imajima, 1966)	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			タイプ産地は「玉野市沖島水深2 m」; 原記載以降確実な採集記録なし
45	フタスジシリス	<i>Proceraea okadai</i> (Imajima, 1966)	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
46	ナミシリス	<i>Proceraea vulgaris</i> (Imajima, 1966)	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
47	トガリタマシリス	<i>Sphaerosyllis hirsuta</i> Ehlers, 1897	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
48	シロマダラシリス	<i>Syllis adamantea</i> (Treadwell, 1914)	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
49	ムアシリス	<i>Syllis alternata</i> Moore, 1908	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
50	ヒトゲシリス	<i>Syllis amica</i> Quatrefages, 1866	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
51	ケナガシリス	<i>Syllis cornuta</i> Rathke, 1843	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
52	エーレルシリス	<i>Syllis ehlersioides</i> Marenzeller, 1890	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
53	カスリシリス	<i>Syllis hyalina</i> (Grube, 1863)	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
54	トラシリス	<i>Syllis variegata</i> Grube, 1860	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
55	ムラサキシマシリス	<i>Trypanosyllis taeniaformis</i> (Haswell, 1886)	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
ゴカイ科 Family NEREIDIDAE Blainville, 1818										
56	ヒメヤマトカワゴカイ	<i>Hediste atoka</i> Sato & Nakashima, 2003	—	—	—	+	汽水域、潮間帯砂泥底			旭川河口(佐藤正典, 未発表)
57	ヤマトカワゴカイ	<i>Hediste diadroma</i> Sato & Nakashima, 2003	—	—	—	+	汽水域、潮間帯砂泥底			旭川河口(佐藤正典, 未発表)
58	アリアケカワゴカイ	<i>Hediste japonica</i> (Izuka, 1908)	—	—	—	×	汽水域、潮間帯軟泥底	絶滅	絶滅危惧 I B類	タイプ産地は「見島湾八浜」; 近年の県内採集記録なし
59	ハナグロゴカイ属の一種	<i>Leonnates</i> sp.	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			寺嶋・松村(1983)の " <i>Leonnates nipponicus</i> " は誤同定の可能性が高い
60	オイワケゴカイ	<i>Namanereis littoralis</i> (Grube, 1872) species complex	—	—	—	+	潮上帯転石帯			
61	ヒメゴカイ	<i>Neanthes acuminata</i> (Ehlers, 1868) species complex	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
62	アシナガゴカイ	<i>Neanthes succinea</i> (Leuckart, 1847)	—	—	—	○	潮間帯～潮下帯砂泥底、付着生物群集間			
63	オウギゴカイ	<i>Nectoneanthes oxypoda</i> (Marenzeller, 1879)	—	—	—	○	潮間帯～潮下帯砂泥底、付着生物群集間			
64	ウチウゴカイ	<i>Nectoneanthes uchiwa</i> Sato, 2013	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底	絶滅危惧 I 類	準絶滅危惧	タイプ産地は「見島湾八浜」
65	ヒゲブトゴカイ	<i>Nereis heterocirrata</i> Treadwell, 1931	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			笠岡(多留, 5 Mar. 2018)
66	マサゴゴカイ	<i>Nereis multignatha</i> Imajima & Hartman, 1964	—	—	—	○	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
67	フツウゴカイ	<i>Nereis pelagica</i> Linnaeus, 1758	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			

番号	和名	学名	生息状況				生息環境区分等	岡山県版 レッドデータブック2020	環境省 レッドリスト2019	備考
			北	中	南	海				
68	エゾゴカイ	<i>Nereis vexillosa</i> Grube, 1851	—	—	—	+	潮間帯転石帯、砂泥底			
69	クマドリゴカイ	<i>Perinereis euini</i> Park & Kim, 2017	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
70	ツルナイソゴカイ	<i>Perinereis mictodonta</i> (Marenzeller, 1879)	—	—	—	○	潮間帯～潮下帯転石帯、砂泥底			
71	ツルヒゲゴカイ	<i>Platynereis bicanaliculata</i> (Baird, 1863)	—	—	—	○	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
72	Platynereis 属の一種	<i>Platynereis</i> sp.	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁?			宇野港 (佐藤正典, 未発表)
73	デンガクゴカイ	<i>Pseudonereis variegata</i> (Grube & Kröyer in Grube, 1858)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
74	コケゴカイ	<i>Simplisetia erythraeensis</i> (Fauvel, 1918)	—	—	—	○	潮間帯～潮下帯砂泥底			
75	カニゴカイ	<i>Tambalagama fauveli</i> Pillai, 1961	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
76	イトメ	<i>Tylorrhynchus osawai</i> (Izuka, 1903)	—	—	—	+	汽水域上部泥底	絶滅危惧 I 類	準絶滅危惧	
オトヒメゴカイ科 Family HESIONIDAE Grube, 1850										
77	ナンカイオトヒメゴカイ	<i>Amphiduros fuscescens</i> (Marenzeller, 1875)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁			
78	オトヒメゴカイ	<i>Hesionia reticulata</i> Marenzeller, 1879	—	—	—	?	潮間帯～潮下帯岩礁			
79	ミクロオトヒメ	<i>Micropodarke dubia</i> (Hessle, 1925)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
80	モグリオトヒメ	<i>Oxydromus pugettensis</i> (Johnson, 1901)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
81	タレメオトヒメゴカイ	<i>Podarkeopsis brevipalpa</i> (Hartmann-Schröder, 1959)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
82	<i>Podarkeopsis capensis</i> (和名なし)	<i>Podarkeopsis capensis</i> (Day, 1963)	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
カギゴカイ科 Family PILARGIDAE Saint-Joseph, 1899										
83	Pilargis 属の一種	<i>Pilargis</i> sp.	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
84	ハナオカカギゴカイ	<i>Sigambra hanaokai</i> (Kitamori, 1960)	—	—	—	○	潮間帯～潮下帯砂泥底			
サシバゴカイ科 Family PHYLLODOCIDAE Örsted, 1843										
85	ホソミサシバ	<i>Eteone longa</i> (Fabricius, 1780)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
86	マダラサシバ	<i>Eumida sanguinea</i> (Örsted, 1843)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
87	イトクスサシバ	<i>Hesionura japonica</i> Yamanishi, 1980	—	—	—	+	潮間帯砂底			
88	ライノサシバ	<i>Phyllodoce maculata</i> (Linnaeus, 1767)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、砂泥底			
89	<i>Phyllodoce madeirensis</i> (和名なし)	<i>Phyllodoce madeirensis</i> Langerhans, 1880	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、砂泥底			
ウキゴカイ科 Family ALCIOPIDAE Ehlers, 1864										
90	ウキゴカイ科の一種	Alciopidae gen. & sp.	—	—	—	+	潮下帯水柱			
シロガネゴカイ科 Family NEPHYTIIDAE Grube, 1850										
91	コノハシロガネゴカイ	<i>Micronephthys oligobranchia</i> (Southern, 1921)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
92	ハヤテシロガネゴカイ	<i>Nephtys caeca</i> (Fabricius, 1780)	—	—	—	?	潮間帯～潮下帯砂泥底			
93	ミナミシロガネゴカイ	<i>Nephtys polybranchia</i> Southern, 1921	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
カギアシゴカイ科 Family PARALACYDONIIDAE Pettibone, 1963										
94	カギアシゴカイ	<i>Paralacydonia paradoxa</i> Fauvel, 1913	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
チロリ科 Family GLYCERIDAE Grube, 1850										
95	マイヅルチロリ	<i>Glycera americana</i> Leidy, 1855	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
96	マキントシチロリ	<i>Glycera macintoshi</i> Grube, 1877	—	—	—	○	潮間帯～潮下帯砂泥底			別名ヒガタチロリ
97	チロリ	<i>Glycera nicobarica</i> Grube, 1866	—	—	—	○	潮間帯～潮下帯砂泥底			
98	オノミチチロリ	<i>Glycera onomichiensis</i> Izuka, 1912	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
99	タイヘイチロリ	<i>Glycera pacifica</i> Kinberg, 1866	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯砂泥底			
100	ヒナサキチロリ	<i>Hemipodia yenourensis</i> (Izuka, 1912)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯転石帯、砂泥底			
ニカイチロリ科 Family GONIADIDAE Kinberg, 1866										
101	Glycinde 属の一種	<i>Glycinde</i> sp.	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
102	ヤマトキョウスチロリ	<i>Goniada japonica</i> Izuka, 1912	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
イソメ類 Clade EUNICIDA Dales, 1962										
ギボシイソメ科 Family LUMBRINERIDAE Schmarda, 1861										
103	ナガギボシイソメ	<i>Kuwaita heteropoda</i> (Marenzeller, 1879)	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯砂泥底			
104	ギボシイソメ	<i>Lumbrineris japonica</i> (Marenzeller, 1879)	—	—	—	○	潮間帯～潮下帯岩礁、砂泥底			

番号	和名	学名	生息状況				生息環境区分等	岡山県版 レッドデータブック2020	環境省 レッドリスト2019	備考
			北	中	南	海				
105	カタマガリギボシイソメ	<i>Scoletoma longifolia</i> (Imajima & Higuchi, 1975)	—	—	—	○	潮間帯～潮下帯砂泥底			別名アシナガギボシイソメ
106	コアシギボシイソメ	<i>Scoletoma nipponica</i> (Imajima & Higuchi, 1975)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
セグロイソメ科 Family OENONIDAE Kinberg, 1865										
107	アカムシ	<i>Halla okudai</i> Imajima, 1967	—	—	—	?	潮間帯～潮下帯砂泥底	情報不足	準絶滅危惧	
ノリコイソメ科 Family DORVILLEIDAE Chamberlin, 1919										
108	ルドルフイソメ	<i>Schistomerings rudolphi</i> (Delle Chiaje, 1828)	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯砂泥底、付着生物群集間			
ナナテイソメ科 Family ONUPHIDAE Kinberg, 1865										
109	スゴカイイソメ	<i>Diopatra sugokai</i> Izuka, 1907	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯砂泥底			
イソメ科 Family EUNICIDAE Berthold, 1827										
110	ヤリブスマ	<i>Eunice indica</i> Kinberg, 1865	—	—	—	(+)	潮下帯砂泥底			
111	アカイソメ	<i>Eunice kobienis</i> McIntosh, 1885	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
112	シボリイソメ	<i>Lysidice ninetta</i> Audouin & Milne Edwards, 1833	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁			
113	イウムシ	<i>Marphysa</i> sp.	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、砂泥底			" <i>Marphysa iwamushi</i> " もしくは " <i>M. sanguinea</i> " とされていた種
114	マルアタムシ	<i>Marphysa</i> sp. A	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
115	ヒモイソメ	<i>Palola siciliensis</i> (Grube, 1840)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、砂泥底			
定在類 Clade SEDENTARIA Lamarck, 1818										
ホコサキゴカイ類 Clade ORBINIIDA Fauchald, 1977										
ホコサキゴカイ科 Family ORBINIIDAE Hartman, 1942										
116	ナガホコムシ	<i>Leitoscoloplos pugetensis</i> (Pettibone, 1957)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
117	<i>Scoloplos</i> 属の一種	<i>Scoloplos</i> sp.	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
ミズヒキゴカイ類 Clade CIRRHATULIFORMIA Fauchald, 1977										
ミズヒキゴカイ科 Family CIRRHATULIDAE Ryckholt, 1851										
118	<i>Chaetozone</i> 属の一種	<i>Chaetozone</i> sp.	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
119	<i>Cirratulus</i> 属の一種	<i>Cirratulus</i> sp.	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
120	<i>Cirriiformia</i> 属の一種	<i>Cirriiformia</i> sp.	—	—	—	○	潮間帯～潮下帯岩礁、砂泥底			" <i>Cirriiformia tentaculata</i> " とされていた種
121	" <i>Tharyx</i> " 属の一種	" <i>Tharyx</i> " sp.	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			実際には <i>Aphelochaeta</i> 属もしくはその近縁属の一種である可能性が高い
クマノアシツキ科 Family ACROCIRRIDAE Banse, 1969										
122	クマノアシツキ	<i>Acrocirrus validus</i> Marenzeller, 1879	—	—	—	○	潮間帯岩礁			
ハボウキゴカイ科 Family FLABELLIGERIDAE Saint-Joseph, 1894										
123	チロリハボウキ	<i>Bradabyssa nuda</i> (Annenkova-Chlopina, 1922)	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
124	<i>Flabelligera</i> 属の一種	<i>Flabelligera</i> sp.	—	—	—	+	潮下帯岩礁、砂泥底			
125	ハボウキゴカイ	<i>Pherusa nipponica</i> Salazar-Vallejo, 2014	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
ダルマゴカイ科 Family STERNASPIDAE Carus, 1863										
126	ウミダルマ属の一種	<i>Sternaspis costata</i> Marenzeller, 1879	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
ヒトエラゴカイ科 Family COSSURIDAE Day, 1963										
127	<i>Cossura coasta</i> (和名なし)	<i>Cossura coasta</i> Kitamori, 1960	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
ヒメエラゴカイ科 Family PARAONIDAE Cerruti, 1909										
128	<i>Paraonis</i> 属の一種	<i>Paraonis</i> sp.	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
ケヤリムシ類 Clade SABELLIDA Dales, 1962										
ケヤリムシ科 Family SABELLIDAE Latreille, 1825										
129	オオメケヤリ	<i>Acromegalomma acrophthalmos</i> (Grube, 1878)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、砂泥底			笠岡 (多留, 11 Sep. 2011)
130	コウケケヤリ	<i>Chone infundibuliformis</i> Krøyer, 1856	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
131	コクビワケヤリムシ属の一種	<i>Euchone</i> sp.	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
132	ロウトケヤリ	<i>Myxicola infundibulum</i> (Renier in Meneghini, 1847)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
133	アズサケヤリ	<i>Parasabella aulacnota</i> (Marenzeller, 1885)	—	—	—	?	潮間帯～潮下帯岩礁、砂泥底、付着生物群集間			
134	ドロケヤリ	<i>Potamilla leptochaeta</i> Southern, 1921	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			

番号	和名	学名	生息状況				生息環境区分等	岡山県版 レッドデータブック2020	環境省 レッドリスト2019	備考
			北	中	南	海				
135	エラコ属の一種	<i>Pseudopotamilla</i> sp.	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
136	ニッポンケヤリムシ	<i>Sabellastarte japonica</i> (Marenzeller, 1885)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁		笠岡 (多留, 11 Sep. 2011)	
137	インドケヤリムシ	<i>Sabellastarte spectabilis</i> (Grube, 1878)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁		従来の「ケヤリムシ」もしくは「ケヤリ」の記録は、本種とニッポンケヤリムシとを混同している可能性が高い	
カンザシゴカイ科 Family SERPULIDAE Rafinesque, 1815										
138	カニヤドリカンザシ	<i>Ficopomatus enigmaticus</i> (Fauvel, 1923)	—	—	—	○	汽水、潮間帯～潮下帯岩礁		生態系被害防止外来種	
139	フクロカンザシ	<i>Hydroides albiceps</i> (Grube, 1870)	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯岩礁			
140	カサネカンザシ	<i>Hydroides elegans</i> (Haswell, 1883)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、港湾部		生態系被害防止外来種	
141	エゾカサネカンザシ	<i>Hydroides ezoensis</i> Okuda, 1934	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、港湾部			
142	ホトゲカンザシ	<i>Hydroides fuscicola</i> Mörch, 1863	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁			
143	ホンウズマキゴカイ	<i>Neodexiospira formaninosa</i> (Bush in Moore & Bush, 1904)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、港湾部			
144	<i>Neodexiospira</i> 属の一種	<i>Neodexiospira</i> sp.	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、アマモ場		笠岡 (多留, 11 Sep. 2011)	
145	シライトゴカイ	<i>Salmacina dysteri</i> (Huxley, 1855)	—	—	—	?	潮間帯～潮下帯岩礁			
146	ヒトエカンザシ	<i>Serpula jukesi</i> Baird, 1865	—	—	—	?	潮間帯～潮下帯岩礁			
147	ヤッコカンザシ	<i>Spirobranchus kraussii</i> (Baird, 1865)	—	—	—	○	潮間帯岩礁			
スピオ類 Clade SPIONIDA Dales, 1962										
スピオ科 Family SPIONIDAE Grube, 1850										
148	ケンサキシピオ	<i>Aonides oxycephala</i> (Sars, 1862)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
149	<i>Boccardiella</i> 属の一種	<i>Boccardiella</i> sp.	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、付着生物群集間			
150	<i>Dipolydora flava</i> (和名なし)	<i>Dipolydora flava</i> (Claparède, 1870)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、砂泥底			
151	ハネエラスピオ属の一種	<i>Paraprionospio</i> sp.	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底		" <i>Paraprionospio pinnata</i> " とされていた種	
152	<i>Polydora</i> 属の一種	<i>Polydora</i> sp.	—	—	—	○	潮下帯砂泥底、サルボ才殻に穿孔		" <i>Polydora ciliata</i> " とされていた種	
153	スタレスピオ	<i>Prionospio bocki</i> Söderström, 1920	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
154	エーレルシスピオ	<i>Prionospio ehlersi</i> Fauvel, 1928	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
155	ヤマトスピオ	<i>Prionospio japonica</i> Okuda, 1935	—	—	—	+	汽水域、潮間帯砂泥底			
156	エリタテスピオ	<i>Prionospio membranacea</i> Imajima, 1990	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
157	マガタマスピオ?	<i>Prionospio</i> cf. <i>multibranchiata</i> Berkeley, 1927	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
158	イトエラスピオ	<i>Prionospio pulchra</i> Imajima, 1990	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
159	<i>Prionospio</i> 属の一種	<i>Prionospio</i> sp.	—	—	—	○	潮間帯～潮下帯砂泥底		" <i>Prionospio cirrifera</i> " とされていた種	
160	コオニスピオ	<i>Pseudopolydora paucibranchiata</i> (Okuda, 1937)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
161	<i>Pseudopolydora</i> 属の一種	<i>Pseudopolydora</i> sp.	—	—	—	○	潮間帯～潮下帯砂泥底		" <i>Pseudopolydora kempii</i> " とされていた種	
162	アカテンスピオ	<i>Scoletopsis variegata</i> Imajima, 1992	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
163	<i>Spio</i> 属の一種	<i>Spio</i> sp.	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯砂泥底			
164	<i>Spiophanes</i> 属の一種	<i>Spiophanes</i> sp.	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
トックリゴカイ科 Family POECILOCHAETIDAE Hannerz, 1956										
165	ニホントックリゴカイ	<i>Poecilochaetus japonicus</i> Kitamori, 1965	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
カンムリゴカイ科 Family SABELLARIIDAE Johnston, 1865										
166	ハナカムリゴカイ	<i>Lydgamis japonicus</i> (Nishi & Kirtley, 1999)	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
オフエリアゴカイ類 Clade OPHELIDAE Fauchald, 1977										
オフエリアゴカイ科 Family OPHELIDAE Malmgren, 1867										
167	ツツオオフエリア	<i>Armandia amakusaensis</i> Saito, Tamaki & Imajima, 2000	—	—	—	○	潮間帯～潮下帯砂底			
TRAVISIIDAE Hartmann-Schröder, 1971										
168	ニッポンオフエリア	<i>Travisia japonica</i> Fujiwara, 1933	—	—	—	?	潮間帯～潮下帯砂泥底			
イトゴカイ類 Clade CAPITELLIDA Fauchald, 1977										
イトゴカイ科 Family CAPITELLIDAE Grube, 1862										
169	ナミイトゴカイ	<i>Capitella capitata</i> (Fabricius, 1780)	—	—	—	○	潮間帯～潮下帯砂泥底			
170	<i>Capitellethus</i> 属の一種	<i>Capitellethus</i> sp.	—	—	—	(+)	潮下帯砂泥底			
171	チリメントゴカイ	<i>Dasybranchus caducus</i> (Grube, 1846)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
172	ナガイトゴカイ	<i>Heteromastus filiformis</i> sensu Hutchings & Rainer, 1981	—	—	—	○	潮間帯～潮下帯砂泥底			

番号	和名	学名	生息状況				生息環境区分等	岡山県版 レッドデータブック2020	環境省 レッドリスト2019	備考
			北	中	南	海				
173	Mediomastus 属の一種	Mediomastus sp.	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
174	Notomastus 属の複数種	Notomastus spp.	—	—	—	○	潮間帯～潮下帯砂泥底			"Notomastus latericeus" とされていた種を含む; 県内には少なくとも遺伝的に区別される2種が生息する (Tomioka et al. 2018)
ユムシ動物 Clade ECHIURA Stephen, 1965										
サナダユムシ科 Family IKEDIDAE Bock, 1942										
175	サナダユムシ	Ikeda taenioides (Ikeda, 1904)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底	絶滅危惧Ⅰ類	準絶滅危惧	
ユムシ科 Family URECHIDAE Monro, 1927										
176	ユムシ	Urechis unicinctus (Drasche, 1880)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底	準絶滅危惧	準絶滅危惧	
ミドリユムシ科 Family THALASSEMATIDAE Forbes & Goodson, 1841										
177	サビネミドリユムシ	Anelassorhynchus sabinus (Lanchester, 1905)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底	絶滅危惧Ⅰ類	準絶滅危惧	
178	ユメユムシ	Ikedosoma elegans (Ikeda, 1904)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底	情報不足	準絶滅危惧	
179	ゴゴシマユムシ	Ikedosoma gogoshimense (Ikeda, 1904)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	
タケフシゴカイ類 Clade MALDANOMORPHA Schweigkofler et al., 1998										
タケフシゴカイ科 Family MALDANIDAE Malmgren, 1867										
180	ホソタケフシゴカイ	Maldane cristata Treadwell, 1923	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
181	クツガタタケフシゴカイ	Metasychis disparidentatus (Moore, 1904)	—	—	—	?	潮間帯～潮下帯砂泥底			
182	Praxillella affinis (和名なし)	Praxillella affinis (M. Sars in G.O. Sars, 1872)	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
183	ナガオタケフシゴカイ	Praxillella pacifica Berkeley, 1929	—	—	—	+	潮下帯砂泥底			
タマシキゴカイ科 Family ARENICOLIDAE Johnston, 1835										
184	タマシキゴカイ	Arenicola brasiliensis Nonato, 1958	—	—	—	○	潮間帯～潮下帯砂泥底			
フサゴカイ類 Clade TERESELLIFORMIA Levinsen, 1883										
ウミイサゴムシ科 Family PECTINARIIDAE Quatrefages, 1866										
185	ウミイサゴムシ	Lagis bocki (Hessle, 1917)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
186	ヒウチウミイサゴムシ	Pectinaria hiuchiensis Kitamori, 1965	—	—	—	+	潮下帯砂泥底	情報不足		
187	オクダウミイサゴムシ	Pectinaria okudai (Imajima & Hartman, 1964)	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底	情報不足		
Family POLYCIRRIDAE Malmgren, 1866										
188	Amaeana 属の一種	Amaeana sp.	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
189	Lysilla 属の一種	Lysilla sp.	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯砂泥底			
190	アカホシフサゴカイ	Polycirrus medius Hessle, 1917	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁、砂泥底			
フサゴカイ科 Family TERESELLIDAE Johnston, 1846										
191	Amphitrite 属の一種	Amphitrite sp.	—	—	—	+	潮間帯～潮下帯岩礁			
192	チンチロフサゴカイ	Loimia verrucosa Caullery, 1944	—	—	—	○	潮間帯～潮下帯岩礁			
Family THELEPODIDAE Caullery, 1915										
193	ヒヤクメニッポンフサゴカイ	Thelepus japonicus Marenzeller, 1885	—	—	—	(+)	潮間帯～潮下帯転石帯			
194	ニッポンフサゴカイ	Thelepus cf. setosus (Quatrefages, 1866)	—	—	—	○	潮間帯～潮下帯転石帯			
タマガシフサゴカイ科 Family TRICHOBRANCHIDAE Malmgren, 1866										
195	Terebellides 属の一種	Terebellides sp.	—	—	—	(+)	潮下帯砂泥底			"Terebellides stroemi" とされていた種
カザリゴカイ科 Family AMPHARETIDAE Malmgren, 1866										
196	アマゲゴカイ	Amage auricula Malmgren, 1866	—	—	—	(+)	潮下帯砂泥底			
環帯類 Clade CLITELLATA Michaelsen, 1919										
イトミミズ類 Clade TUBIFICATA Jamieson, 1988										
ミズミミズ科 Family NAIDIDAE Ehrenberg, 1828										
197	エラミミズ	Branchiura sowerbyi Beddard, 1892	—	—	+	—	水田、河川、湖沼			
198	マエウチワミミズ	Dero dorsalis Ferronniere, 1899	—	—	+	—	水田、湖沼			
199	ユリミミズ属の一種	Limnodrilus sp.	—	—	○	—	湖沼			
200	ミズミミズ属の一種	Nais sp.	—	—	(+)	—	水田、河川、湖沼			「岡山市水道」より記録; 近藤 (1964)
201	イトミミズ属の一種	Tubifex sp.	—	—	+	—	河川、湖沼			
コヒメミミズ科 Family PROPAPPIDAE Coates, 1986										

番号	和名	学名	生息状況				生息環境区分等	岡山県版 レッドデータブック2020	環境省 レッドリスト2019	備考
			北	中	南	海				
202	ナガハナコヒメミズ	<i>Propappus volki</i> Michaelsen, 1916	+	-	-	-	河川			
厚環帯類 Clade CRASSICLITELLATA Jamieson, 1988 フトミミズ科 Family MEGASCOLECIDAE Rosa, 1891										
203	クソミズ	<i>Amyntas hupeiensis</i> (Michaelsen, 1895)	?	?	?	-	土壌			
204	フクソクミズ	<i>Amyntas tokioensis</i> (Beddard, 1892)	-	(+)	-	-	土壌			新参異名の <i>Pericheata laevis</i> Goto & Hatai, 1899 および <i>P. irregularis</i> Goto & Hatai, 1899 のタイプ産地の一部が「高粱」(詳細な産地不詳)
205	ハタケミズ	<i>Metaphire agrestis</i> (Goto & Hatai, 1899)	-	(+)	-	-	土壌			タイプ産地の一部が「高粱」(詳細な産地不詳)
206	フツウミズ	<i>Metaphire communissima</i> (Goto & Hatai, 1899)	?	?	○	-	土壌			タイプ産地の一部が「備中」(詳細な産地不詳)
207	マナコミズ	<i>Metaphire glandularis</i> (Goto & Hatai, 1899)	-	(+)	-	-	土壌			タイプ産地は「高粱」(詳細な産地不詳)
208	ヒトツモンミズ	<i>Metaphire hilgendorfi</i> (Michaelsen, 1892)	?	?	?	-	土壌			
209	シーボルトミズ	<i>Metaphire sieboldi</i> (Horst, 1883)	+	-	-	-	山間部土壌			県北部(福田, 19 Dec. 2018 in litt.)
210	コヒダミズ	<i>Metaphire vesiculata</i> (Goto & Hatai, 1899)	-	(+)	-	-	土壌			タイプ産地の一部が「高粱」(詳細な産地不詳)
211	ヤマダミズ	<i>Metaphire yamadai</i> (Hatai, 1930)	?	?	?	-	土壌			タイプ産地は「岡山」(詳細な産地不詳)
212	イソミズ	<i>Pontodrilus litoralis</i> (Grube, 1855)	-	-	-	○	湖上帯砂中			
ツリミミズ科 Family LUMBRICIDAE Claus, 1876										
213	<i>Aporrectodea caliginosa</i> (和名なし)	<i>Aporrectodea caliginosa</i> (Savigny, 1826)	?	?	?	-	土壌			
214	クロイロツリミズ	<i>Aporrectodea trapezoides</i> (Dugès, 1828)	?	?	?	-	土壌			
215	フクロナシツリミズ	<i>Bimastos parvus</i> (Eisen, 1874)	?	?	?	-	土壌			
216	ツリミズ	<i>Eisenia fetida</i> (Savigny, 1826)	?	?	○	-	土壌			
カイヨウミミズ科 Family OCNERODRILIDAE Beddard, 1891										
217	カイヨウミズ	<i>Ocnerodrilus occidentalis</i> Eisen, 1878	?	?	?	-	土壌			
オヨギミミズ類 Clade LUMBRICULATA Jamieson, 1988 ヒル類 Clade HIRUDINEA Lamarck, 1818 Clade EUHIRUDINEA Lukin, 1958 ヒラタビル科 Family GLOSSIPHONIIDAE Vaillant, 1890										
218	ハバヒロビル	<i>Alboglossiphonia lata</i> (Oka, 1910)	?	○	○	-	水路、河川			
219	カイビル	<i>Batrachobdella kasmiana</i> (Oka, 1910)	?	○	○	-	水路、河川(イシガイ類外殻に寄生)			タイプ産地の一部が「備前」(詳細な産地不詳)
220	ヒラタビル	<i>Glossiphonia complanata</i> (Linnaeus, 1758)	?	○	○	-	河川、湖沼			
221	ヌマビル	<i>Helobdella stagnalis</i> (Linnaeus, 1758)	-	-	+	-	水路、河川、湖沼			
222	スクナビル	<i>Torix orientalis</i> (Oka, 1925)	○	?	?	-	産地溪流(両生類体表に寄生)		情報不足	
223	タゴビル	<i>Torix tagoi</i> (Oka, 1925)	○	?	?	-	産地溪流(両生類体表に寄生)		情報不足	
224	ツクバビル	<i>Torix tukubana</i> (Oka, 1935)	○	+	?	-	産地溪流(両生類体表に寄生)			
225	ヒラタビル科の一種	<i>Glossiphoniidae</i> gen. & sp.	+	-	-	-	河川(スッポン体表に寄生)			泉川(2009)
ウオビル科 Family PISCICOLIDAE Johnston, 1865										
226	ヒダビル	<i>Limnotrachelobdella okae</i> (Moore, 1924)	-	-	-	+	トラフグ、ヒラメ、ボラ体表に寄生			
227	<i>Trachelobdella</i> 属の一種	<i>Trachelobdella</i> sp.	-	-	-	+	ヒガンフグ体表に寄生			
ヤマビル科 Family HAEMADIPSIDAE Blanchard, 1893										
228	ヤマビル	<i>Haemadipsa japonica</i> Whitman, 1886	?	?	+	-	山地			
チスイビル科 Family HIRUDINIDAE Whitman, 1886										
229	チスイビル	<i>Hirudo nipponia</i> Whitman, 1886	+	+	○	-	水田、河川			
230	ウマビル	<i>Whitmania pigra</i> (Whitman, 1884)	-	-	+	-	水田、河川			
クガビル科 Family OROBDELLIDAE Nakano et al., 2012										
231	クガビル属の一種	<i>Orobdella</i> sp.	-	-	+	-	水路、河川			吉郷(2014)
イシビル科 Family ERPOBDELLIDAE Blanchard, 1894										
232	シマイシビル	<i>Erpobdella japonica</i> Pawlowski, 1962	?	?	○	-	水路、河川			別名ナミイシビル、ニホンイシビル
ナガレビル科 Family SALIFIDAE Johansson, 1910										
233	マネビル	<i>Mimobdella japonica</i> Blanchard, 1897	-	+	-	-	土壌、水田、水路			
234	キバビル	<i>Odontobdella branchardi</i> (Oka, 1910)	-	-	+	-	水田、水路、河川			